

地方が直面する様々な問題に、真っ向から立ち向かおうとする小さな町の挑戦——
5カ年計画の後半期を迎えた「美波ふるさと創造戦略」は、今や地方創生のホットワード「美波町モデル」として全国から注目を集めるようになりました。

ひとりひとりが自分事として、住民総参加で進めることを提唱した「美波ふるさと創造戦略」の取り組み、美波町ならではの地方創生を紹介していきます。

サテライトオフィス企業が中学生の職業体験・総合学習に協力!

日和佐中学校の職業体験の授業に日和佐地区・門前町にある複合施設『at Teramae (アットテラマエ)』が協力。「パソコンを使った仕事に興味がある」という同校2年生の坂部一葉さんは、前日に株式会社あわえにて美波町の進める地方創生や、美波町のサテライトオフィス企業について学んだ後の訪問・体験となりました。

Webデザインなどを手がけるサテライトオフィス企業・株式会社まめぞうデザインでは、代表のドウゾノセイヤさんがパソコンを使ってのデザインを指導。HWS STUDIOではアパレルデザインや販売について、またMarmaid Coffeeでは、美味しいコーヒーの淹れ方も教わったそうです。

由岐中学校からは1年生の皆さんが、美波町子ども議会の事前学習として、日和佐地区のサテライトオフィス企業やミナミマリンラボを見学しました。

町の担当者から美波町の現状や現在進めているサテライトオフィス誘致、地方創生への取り組みについて説明を受けた生徒たち。

「訪れる前は『この町には何も無い』『田舎は損だ』と、後ろ向きな意見ばかりでしたが、こうやって頑張っている大人たちが身近にいることを知り、故郷に対する思いが強くなったように感じます。」と、担任の先生からは嬉しい感想を聞くことができました。



お知らせ

美波町の地方創生に関する新聞記事や雑誌が以下の場所でご覧いただけます!

日和佐地区：日和佐図書・資料館1階

由岐地区：由岐ふれあいホール(ぽっぽマリン2階)